

令和 6 年度

「運営に関する計画・自己評価（最終評価）」

大阪市立墨江幼稚園

令和 7 年 3 月

大阪市立墨江幼稚園 令和6年度 運営に関する計画・自己評価（総括シート）

1 学校運営の中期目標

現状と課題

○4歳児5歳児が単学級、2クラスの小規模園である。子どもたちは、自分の思いを自分なりに表現し、進んで体を動かして遊ぶ姿が見られる。一方で、自分で考えて行動したり、思いを伝え合ったりする経験が少なく、人と関わる機会が少ないような傾向が見られる。このようなことから、幼児が初めて経験する集団生活において、心身共に安心安全な環境の中で主体的に遊び、自分の思いを伸び伸びと表現する幼児を育むための指導の在り方について考えていきたい。また、幼児の生活の中に様々な物や情報があふれている現状から、幼児期にふさわしい様々な体験を通して育まれることの大切さを考えながら、豊かな感性を育み、自分も他者も大切にできるような子どもを育てられるような指導の工夫をしていきたい。そして、地域で育つ子どもたちの健全育成に向けて、本園の特色を生かしたふれあい活動や地域との連携を積極的に行うことを課題として取り組む。

中期目標

【安全・安心な教育の推進】

基本的な方向1（安全・安心な教育環境の実現）

○令和7年度末の本園保護者アンケート調査で、「幼稚園では、安全に過ごすための環境構成や教育内容を工夫している」という項目において、肯定的な回答をする割合を90%以上にする。

基本的な方向2（豊かな心の育成）

○令和7年度末の本園保護者アンケート調査で、「幼稚園では、幼児一人一人の個性を大切にし、互いを認め合える教育活動を実践している」という項目において、肯定的な回答をする割合を90%以上にする。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

基本的な方向3（幼児教育の推進と質の向上）

○令和7年度末の本園保護者アンケート調査で、「幼稚園では、友達と伝え合い、試したり工夫したりする楽しさを味わう中で、自ら考えようとする子どもを育むための指導を行っている」という項目において、肯定的な回答をする割合を90%以上にする。

基本的な方向4（誰一人取り残さない学力の向上）

○令和7年度末の本園保護者アンケート調査で、「子どもは、いろいろな経験を通して、自分なりに表現することを楽しんでいる」という項目において、肯定的な回答をする割合を90%以上にする。

基本的な方向5（健やかな体の育成）

○令和7年度末の本園保護者アンケート調査で、「幼稚園では、健康な生活習慣を身に付けるような指導を行っている」という項目において、肯定的な回答をする割合を90%以上にする。

【学びを支える教育環境の充実】

基本的な方向 6（教育 DX の推進）

○令和 7 年度末の本園保護者アンケート調査で、「子どもは、様々なことに興味や関心をもつようになった」という項目において、肯定的な回答をする割合を 90 %以上にする。

基本的な方向 7（人材の確保・育成としなやかな組織づくり）

○令和 7 年度末の教職員アンケート調査で、「キャリアステージに応じた研修に参加し、保育に生かすことができた」という項目において、肯定的に回答する教職員の割合を令和 3 年度より 5 ポイント増加させる。

基本的な方向 8（生涯学習の支援）

○令和 7 年度末の本園保護者アンケート調査で、「子どもは、絵本に興味や関心をもつようになった」という項目において、肯定的な回答をする割合を 90 %以上にする。

基本的な方向 9（家庭・地域等と連携・協働した教育の推進）

○令和 7 年度の本園保護者アンケート調査で、「幼稚園では、家庭や地域との連携を積極的に行っている」という項目において、肯定的な回答をする割合を 90 %以上にする。

2 中期目標の達成に向けた年度目標（全市共通目標を含む）

学校園の年度目標

基本的な方向 1（安全・安心な教育環境の実現）

○令和6年度末の本園保護者アンケート調査で、「幼稚園では、安全に過ごすための環境構成や教育内容を工夫している」という項目において、肯定的な回答をする割合を85%以上にする。

基本的な方向 2（豊かな心の育成）

○令和6年度末の本園保護者アンケート調査で、「幼稚園では、幼児一人一人の個性を大切にし、互いを認め合える教育活動を実践している」という項目において、肯定的な回答をする割合を85%以上にする。

基本的な方向 3（幼児教育の推進と質の向上）

○令和6年度末の本園保護者アンケート調査で、「幼稚園では、友達と伝え合い、試したり工夫したりする楽しさを味わう中で、自ら考えようとする子どもを育むための指導を行っている」という項目において、肯定的な回答をする割合を85%以上にする。

基本的な方向 4（誰一人取り残さない学力の向上）

○令和6年度末の本園保護者アンケート調査で、「子どもは、いろいろな経験を通して、自分なりに表現することを楽しんでいる」という項目において、肯定的な回答をする割合を85%以上にする。

基本的な方向 5（健やかな体の育成）

○令和6年度末の本園保護者アンケート調査で、「幼稚園では、健康な生活習慣を身に付けるような指導を行っている」という項目において、肯定的な回答をする割合を85%以上にする。

基本的な方向 6（教育DXの推進）

○令和6年度末の本園保護者アンケート調査で、「子どもは、様々なことに興味や関心をもつようになった」という項目において、肯定的な回答をする割合を85%以上にする。

基本的な方向 7（人材の確保・育成としなやかな組織づくり）

○令和6年度末の教職員アンケート調査で、「キャリアステージに応じた研修に参加し、保育に生かすことができた」という項目において、肯定的に回答する教職員の割合を令和5年度よりもポイントを増加させる。

基本的な方向 8（生涯学習の支援）

○令和6年度末の本園保護者アンケート調査で、「子どもは、絵本に興味や関心をもつようになった」という項目において、肯定的な回答をする割合を85%以上にする。

基本的な方向 9（家庭・地域等と連携・協働した教育の推進）

○令和6年度の本園保護者アンケート調査で、「幼稚園では、家庭や地域との連携を積極的に行っている」という項目において、肯定的な回答をする割合を85%以上にする。

3 本年度の自己評価結果の総括

本年度の幼稚園運営や保護者アンケート結果の全体を通して、目標達成に向けた3つの視点において、次の成果が見られた。

「安心・安全な教育の推進」では、子どもが安全な幼稚園生活を送ることができるよう、その都度環境整備をするとともに、子どもと一緒に小石や瓦礫を拾ったり、安全に遊べるよう環境を整えたりすることで、子ども自身の安全な生活に対する意識が高まってきた。避難訓練は、毎回子どもへの事前事後指導をしっかり行い、教職員は子どもの実態を把握し、反省を見直しながら進めてきたので、どのような想定や状況であっても、子どもは落ち着いて行動する力が付いてきた。また、今年度は支援機関との連携に特に力を入れ、子ども一人一人が安心して過ごせるよう取り組んだ。関係機関から学んだことを取り入れながら、個々に応じた関わり、支援について教職員で繰り返し話し合い、保育を進めたことで、個々や集団の育ちにつながった。

「未来を切り拓く学力・体力の向上」では、教職員が互いの保育を見合う機会をつくって、主体的な子どもを育むために、保育内容や言葉かけ、働きかけを学び合い、教職員の保育力や資質の向上に努めた。また、子どもの実態や興味に合わせて遊びや環境を日々再構成していくことで、自ら考え、思いを出し、友達と関わり合いながら遊ぶ姿、体を動かしたり、言葉に出したりして表現することを楽しむ姿につながった。保健面では、担任と連携して子どもの実態を捉え、指導内容や方法を工夫した。子どもの興味や関心が継続するように働きかけたことで、子どもは健康な生活習慣への意識が持続している。

「学びを支える教育環境の充実」では、教職員が主体的、かつ全体で協力して業務に取り組めるように工夫し、効率よく進めることができたことで、業務の時間短縮につながった。余裕ができた分、教材研究をし、子どもの興味や関心を深めるための工夫を保育に取り入れることができた。今年度も住吉図書館を活用し、自分で絵本を借りたり返したりする経験から、子どもの絵本への興味や関心を深めることができた。図書館を活用することは、子どもが地域と関わる機会にもなった。さらにホームページの更新を週1回以上行い、幼稚園の取り組みを発信し、幼稚園のことを地域に知ってもらえるよう取り組んだ。

大阪市立墨江幼稚園 令和6年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A : 目標を上回って達成した	B : 目標どおりに達成した
C : 取り組んだが目標を達成できなかった	D : ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
学校園の年度目標	
基本的な方向1（安全・安心な教育環境の実現） ○令和6年度末の本園保護者アンケート調査で「幼稚園では、安全に過ごすための環境構成や教育内容を工夫している」という項目において、肯定的な回答をする割合を85%以上にする。 基本的な方向2（豊かな心の育成） ○令和6年度末の本園保護者アンケート調査で、「幼稚園では、幼児一人一人の個性を大切にし、互いを認め合える教育活動を実践している」という項目において、肯定的な回答をする割合を85%以上にする。	B

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容①【安全・安心な教育環境の実現】 子どもが安全に過ごせるような環境づくりに努め、安全な生活に対する意識が高まるような指導を行う。 指標・安全点検（毎日・毎月）を行い、環境整備を行う。 • 災害を想定した避難訓練を、年5回以上行う。 • 保護者への啓発を行う。	B
取組内容②【豊かな心の育成】 子ども一人一人が過ごしやすい園生活を送り、互いのよさや個性を認め合えるようにする。 指標・幼児理解や手立てのための検討会を毎日行い、今後につなげる。 • 個別の指導計画・支援計画を立て、学期ごとに見直し、教職員間で検討する。	B

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析
取組内容①について • 毎日や毎月の安全点検を行い、子どもが安全に過ごせる環境を整えた。適宜、園庭の石や瓦礫拾いをしたこと、子どもがガラス片を見つけて教師に知らせるなど、危険を感じて行動する姿が見られた。また、園庭の見通しがよくなるよう遊び場や片付け場所を見直したり、暑さ対策としてミストや遮光ネットを設置したりした。子どもたちの熱中症予防の意識が高まり、進んで水分補給をしたり暑さ指数に关心をもったりする子どもの姿が見られた。 • 火災、地震、防犯など9回の避難訓練を実施した。避難の様子を見る、予告しての避難、無予告で非常ベルを鳴らす、など段階を踏んだ計画を立て、予想される子どもの姿を教職員が共通理解して臨んだことで、子どもが落ち着いて安全に避難する態度が身についた。また、保護者の引き渡し訓練や預かり保育中の避難訓練を実施したことは、教職員がその場の状況に応じて臨機応変に動くことを経験するよい機会になった。 • 全員が安全にかつ素早く避難できるように、抱っこひもを購入した。避難訓練で抱っこしなければならなくなったりときに、楽に抱っこでき、避難がスムーズにできた。

- ・毎月大阪府警の安全だよりを配付して保護者啓発に活用した。子ども向けの内容の「あんぜんだより」を作成して裏面に掲載し、クラスで内容を再確認して持ち帰った。塗り絵ができるようなカットを用いたことで子どもの関心が高まり「絵を気に入って心待ちにしている」「読んで欲しがるので親子で見ている」という子どもの様子が保護者から聞かれた。

取組内容②について

- ・日々の保育の中で、子どもの興味や関心に合わせながら、みんなが楽しめる遊びや環境を試行錯誤した。それぞれが自分のやりたい遊びを見つけ、楽しむ姿が見られた。
- ・特別支援教育園内委員会を4回、巡回支援を2回実施した。また、今年度は東住吉支援学校に地域支援を申し込み、指導を受けたり、授業や生活の様子を見学したりした。実際の子どもの姿から、身体を保持する支援の仕方、本人や周りの子どもへの言葉かけの仕方など、個々に応じた支援の手立てについて助言を受け、小学校生活に向けての準備、支援の見通しをもつことができた。それらの指導助言を活かし、その時々の成長や課題を振り返りながら、適切な指導や支援に向けて園全体で取り組んだ。
- ・園内委員会の時に限らず、普段から子どもの様子や変化などについて伝え合い、教職員全員で情報共有や共通理解を図りながら、個々の実態に応じた効果的な支援を継続できるように努めてきた。スケジュールや歌詞などをイラストや写真を用いて知らせ、みんなが過ごしやすい環境を整えた。クラスの活動に参加しにくかった子どもも、次第に参加する時間が長くなり、友達と一緒にしようという気持ちが高まった。
- ・子どもの支援とともに、保護者のサポートについても、どのようなことができるのか、子どもの育ちにつながる関わりを日々教職員間で話し合っている。
- ・隨時、利用中の療育施設やデイサービスを訪問し、子どもの様子やサポート方法を見学した。環境のつくり方、どのようなことを伸ばそうとしているのかなど、支援方法を多岐にわたり学ぶことができ、園での支援方法について再考し改善していくことができた。また住吉区保健福祉課子育て相談室や、小学校など関係機関と連携し、個々に応じた支援の充実を図った。

次年度への改善点

取組内容①について

- ・交通安全指導などの内容を園外活動時にも活用し、子どもが実践できるような態度を育む。
- ・安全上の不具合（園庭の瓦礫）について、引き続き日々気を付けてその都度改善する。

取組内容②について

- ・引き続き、支援機関との連携を図りながら、計画的に特別支援教育園内委員会や巡回相談、関連施設の見学を実施する。
- ・どこまでできるのか、何を目標とするか、ねらいを明確にして、指導計画、支援計画を見直し、その時期の一人一人の実態に応じた支援について検討したり、教職員全員で共通理解を図ったりする。

大阪市立墨江幼稚園 令和6年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A : 目標を上回って達成した	B : 目標どおりに達成した
C : 取り組んだが目標を達成できなかった	D : ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
学校の年度目標	
基本的な方向3（幼児教育の推進と質の向上） ○令和6年度末の本園保護者アンケート調査で「幼稚園では、友達と伝え合い、試したり工夫したりする楽しさを味わう中で、自ら考えようとする子どもを育むための指導を行っている」という項目において、肯定的な回答をする割合を85%以上にする。	B
基本的な方向4（誰一人取り残さない学力の向上） ○令和6年度末の本園保護者アンケート調査で、「子どもは、いろいろな経験を通して、自分なりに表現することを楽しんでいる」という項目において、肯定的な回答をする割合を85%以上にする。	
基本的な方向5（健やかな体の育成） ○令和6年度末の本園保護者アンケート調査で、「幼稚園では、健康な生活習慣を身に付けるような指導を行っている」という項目において、肯定的な回答をする割合を85%以上にする。	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容①【幼児教育の推進と質の向上】 就学前教育カリキュラムや世界を拓くなどにわざと、幼稚園教育要領を基に、本園の実態を踏まえ、教育課程、長期の指導計画の見直し、主体的な子どもを育むための保育内容を工夫する。 指標・教育課程・長期の指導計画の見直しをする。 ・園内研修会を年4回以上行う。 ・毎月、保育内容や子どもの育ちを保護者へ啓発する。	B
取組内容②【誰一人取り残さない学力の向上】 自分なりに表現することを楽しめるよう、実態に応じた活動や遊びを工夫する。 指標・体を動かすことを楽しめるような活動内容や環境を毎週見直す。	B
取組内容③【健やかな体の育成】 健康な生活習慣が身に付くよう、年間を通して保健指導を行う。 指標・年間計画を立案し、計画的に保健指導を行う。 ・毎月、保健指導などの取組を保護者に知らせる。	B
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
取組内容①について ・休業中に教育課程・長期の指導計画を教職員で回覧し、加筆修正・見直しを行った。見通しをもって加筆修正や見直しを行うことで、子どもの実態や興味に合った活動や教師の働きかけを記録に残し、次年度に生かせるようにした。	

- ・9月に指導要請を行った。室内でも遊戯室や保育室を使って異年齢で体を動かす楽しさを味わえるよう、教職員でアイディアを出し合い、環境を日々再構成していったことが、子どもたちが主体的に遊びを考えたり、楽しんだりする姿につながった。
- ・園内研修会を6回行った。園内研修会を行うことで、子どもの様子を多面的に捉え、子どもとの関わり方や言葉かけの仕方、保育の進め方を考えたり、教職員で共有する機会となった。また、自分の保育だけでなく、いろいろな保育の仕方を知る機会となり、資質向上につながった。
- ・毎月、クラス便り「すてきな みんなの えがおがいっぱい」を発行し、子どもの活動している写真とともに、保育のねらいや担任の願い、子どもの育ちを保護者に伝えた。それを幼稚園ホームページに掲載し、地域の方にも幼稚園の取り組みを知ってもらえるようにした。
- ・毎日降園時には、その日の保育内容について保護者に伝えることで、保護者が日々の子どもたちの興味や関心を知ったり、子どもと保護者の会話のきっかけとなったりした。また、日々の保育の様子を子どもの写真とともにホームページに掲載することで、保護者や地域の方に幼稚園や遊びの様子について知っていただуききっかけとした。
- ・学期ごとに、保育内容や子どもの育ちを就学前教育カリキュラムを活用して、保護者に伝えたり。パワーポイントを用いて写真とともに子どもの育ちを伝えたことで、育ちを共有したり、共感してもらったりすることができた。

取組内容②について

- ・4月より異年齢でピアノや音楽に合わせて体操をしたりふれあい遊びをしたりして週1回以上体を動かす遊びを楽しんだ。
- ・時期に合わせて色水や泡、土粘土、土、泥などの感触遊びを取り入れて遊んだ。プランターの花や石鹼などの材料や十分な広さの空間など、一人一人が存分に遊べるよう環境を整えた。
- ・本年度の研究テーマである「子どもたちが自ら体を動かすことを楽しむ」ことを基に、子どもの遊びの様子を見ながら環境を整えた。泥で遊ぶ子どもたちに的を用意したところ、的を狙って投げたりより高い場所をめがけて投げ方を考えたりするなどし、繰り返し全身を使って遊ぶ姿につながった。
- ・2学期には、子どもの興味に合った活動を取り入れたり、友達と一緒に挑戦や試行錯誤して遊びを考えることができるよう励ましたりして、存分に体を動かすことを楽しんだ。運動会後も運動会ごっこが続いているので、遊びを続けられるよう環境を整えた。いろいろな遊びに取り組む中で、年長児への憧れの気持ちや他学年の遊びをしてみたい気持ちが満たされ、思い思いに楽しむ様子が見られた。
- ・12月には気温の低いときでも体を動かして遊ぶ心地よさを感じる機会がもてるよう、全園児でマラソンごっこをして遊んだ。友達と一緒に走る楽しさを感じたり、友達の姿に刺激を受けたりして走る様子を認め励ました。継続することで、走り続けようと自分なりに目標をもって走る姿が見られるようになった。
- ・3学期はこれまでに遊んできた遊びや好きな絵本からイメージを広げ、表現遊びをすることを楽しんだ。子どもの興味や関心、場面などに合わせて劇中の曲を選ぶことで、より子どもが生き生きと表現する姿につながった。保育室に楽器で遊べる環境を整えたり、身に着ける物を整えておいたりすることで、それぞれの思いを出して表現する姿が見られた。

取組内容③について

- ・年間計画に基づいて、毎月の保健指導を行った。食後の歯みがきでは、安全面に配慮した環境を整えるとともに、子どもたちのみがき方の様子や歯科検診の結果、永久歯の萌出など個々に応じた声かけを心がけ、虫歯予防の意識が継続するよう取り組んだ。姿勢の指導では養護教諭と担任が連携し、担任からも要所要所でよい姿勢を意識するような声かけを続けたことで、自分で気付き姿勢を正す子どもの姿が見られた。保健指導の教材については、視覚教材を用いて理解しやすいよう工夫したこと、子どもの興味や関心が高まった。
- ・指導内容や子どもの様子を、月に1回「すてきな みんなの えがおがいっぱい 保健室編」やホームページで保護者に知らせた。指導の様子を写真で具体的に知らせたことで「よく分かった」「子どもと話題を共有できた」との声が保護者から聞かれ、家庭啓発に効果があった。

次年度への改善点

取組内容①について

- ・次年度も、見通しをもって教育課程や長期の指導計画を見直すことや、園内研修会を行い、主体的な子どもを育めるよう、本園の子どもの実態に合った保育内容を工夫する。

取組内容②について

- ・子どもが興味や関心を深め、自分なりの思いをもって存分に遊べるよう保育内容を工夫する。

取組内容③について

- ・指導の内容への関心が薄れないように、担任と連携して個々の指導を継続する。

大阪市立墨江幼稚園 令和6年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
学校の年度目標	
基本的な方向6（教育DXの推進） ○令和6年度末の本園保護者アンケート調査で、「子どもは、様々なことに興味や関心をもつようになった」という項目において、肯定的な回答をする割合を85%以上にする。	
基本的な方向7（人材の確保・育成としなやかな組織づくり） ○令和6年度の年間年休取得率を令和5年度より、増やす。	B
基本的な方向8（生涯学習の支援） ○令和6年度末の本園保護者アンケート調査で、「子どもは、絵本に興味や関心をもつようになった」という項目において、肯定的な回答をする割合を85%以上にする。	
基本的な方向9（家庭・地域等と連携・協働した教育の推進） ○令和6年度の本園保護者アンケート調査で、「幼稚園では、家庭や地域との連携を積極的に行ってている」という項目において、肯定的な回答をする割合を85%以上にする。	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標		進捗状況
取組内容① 【教育 DX の推進】 教師が教材・機器の使い方を学び、教材研究を行う。		B
指標・学期に 1 回以上、視聴覚教材を保育に取り入れる。		
取組内容② 【人材の確保・育成としなやかな組織づくり】 保育の打ち合わせ、環境整備などを効率よく実施する。		B
指標・仕事内容を視覚化し、全体作業の分業化を行う。		
取組内容③ 【生涯学習の支援】 豊かな感性を育めるよう、子どもたちが絵本やお話を親しむ機会をもつ。		B
指標・絵本やお話を親しめる環境を整え、充実を図る。 ・絵本コーナーの充実を図り、学期に 1 回以上見直す。 ・学期に 1 回以上、住吉図書館や小学校図書館を利用する。		
取組内容④ 【家庭・地域等と連携・協働した教育の推進】 地域やいろいろな人の関わりをもち、開かれた幼稚園運営を行う。		B
指標・地域の行事に参加したり、いろいろな人と関わったりする機会を年 5 回以上もつ。 ・幼稚園の活動を紹介する内容を工夫する。		
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析		
取組内容①について <ul style="list-style-type: none"> ・年長児は、バレー ボールに興味をもつ幼児がいたことから、クラス全員で遊びを共有しようと、プロジェクトを用いてバレー ボールの動画を見る機会をつくり、イメージをもてるようとした。他の子どもも興味をもち、バレー ボール選手を身振り手振りでまねようしたり、自分たちでバレー ボールの試合のように得点を数えながら遊んだりする姿が見られた。 ・カブトムシの飼育を行い、カブトムシに興味をもっている姿から、カブトムシの DVD を見られるようにした。他にも、園庭ではダンゴムシやチョウを捕まえたり、ザリガニやチョウを飼育したりして、いろいろな生き物に興味をもっている姿が見られた。脱皮や羽化の瞬間などは、興味をもっていたり図鑑や絵本で知ったりしていても、実際に見られないことが多いので、そのような動画を保育に取り入れたことで、子どもの興味がさらに広がった。 ・鯉のぼり製作では、カラーセロハンを太陽に当てることで、色が映し出されることに気付き、懐中電灯とカラーセロハンを使って色を映し出したり、模様をつくったり、色を重ねると色が変わる不思議さを楽しんだりする姿が見られた。また、育てている野菜の影絵クイズを行うことで、身近な野菜に興味をもつ姿が見られた。 ・2 学期には、年長児がオリンピックやリレーの映像を見た。リレーの映像を見ると、「足めっちゃ速い」と手足をしっかりと振る選手をまねたり、「足速くなりたい」と繰り返し走ったりする姿が見られ、リレーに対して意欲的になった。また、中央公会堂で行われた大阪市立幼稚園音楽会「うたごえひびけなにわっこ」で歌う前には、過去の DVD を見せることで、歌う場所を知ったり、音楽会のイメージをもったりして、楽しみにする姿が見られた。 ・3 学期には、「ピーターパン」のお話に出てくる影が分かるよう、日向で遊ぶ中で、自分の動きと影が同じ動きになることを知ったり、影がついてくる面白さを味わったりした。その実体験に加えて、OHP を使うことで、さらにいろいろな動きが影と同じ動きになるか試したり、影当てクイズをしたりして遊ぶ姿につながった。 		

取組内容②について

- ・回覧をして職員会議のレジュメを作成したり、業務内容や役割分担、打ち合わせ日程、期日などを全員で把握できるよう詳細に記したりしたこと、主体的に会議や打ち合わせに参加し、計画的に業務を進めることができた。
- ・職員朝礼での確認事項をノートに記録したり、打合せの予定や全体作業、締切りや確認事項を細かくホワイトボードに記入したりして視覚化することで、各自で段取りをして臨むとともに、全員で意識して声をかけ合うことができた。
- ・時間を決めて打ち合わせをすることで、全員が積極的に発言してスムーズに打ち合わせが進むようになった。

取組内容③について

- ・季節ごとに保育室の絵本棚の絵本を入れ替えたり、子どもの興味関心に応じて飼育している生き物のそばに絵本を置いたり、季節の行事をきっかけに年少・年長と一緒に絵本を見たりした。子どもの興味や発達段階に合ったものを選び、手に取りやすい形で用意し、表紙の絵が見えるように整えたことで、興味をもった絵本を手に取って楽しむ姿がよく見られた。月間絵本の付録の自然図鑑も、遊びに持つて出かけたり、見つけたときに調べたりできるよう、すぐ手に取れる場所に置いておくと、遊びの中で自由に使い楽しむ姿があった。
- ・学期ごとに親子絵本貸し出しの日を設け、子ども1冊、保護者1冊の貸し出しを試みた。保護者はいつも子どもが選ぶ本とは違った絵本を選んだり、子どもが好みそうな絵本を選んだり、それぞれの選び方があり、親しむ絵本に広がりが見られた。絵本カードのコメント欄から、子どもの興味が分かり、保育に活かすことができた。保護者用の貸し出しノートがあることも知らせると、借りて帰られる保護者もあり、園にある絵本を活用できる機会となった。
- ・園への寄贈や新規購入で新しい絵本が増えたので、2・3学期末の絵本貸し出しで紹介した。長期休業では2冊ずつの貸し出しにし、いろいろな絵本に親しむことができた。
- ・地域にある住吉図書館の個人カードを各家庭で作成してもらい、図書館を保育の中で利用できるようにし、自分で絵本を借りたり返したりする経験を重ねた。地域の図書館を知るきっかけとなり、家庭から図書館に出かけ活用しているという声も聞かれる。
- ・隣接する墨江小学校の図書室を利用し、園にない絵本にも親しむことができた。小学校生活を知ることもでき、就学を楽しみにする気持ちにもつながった。
- ・住吉区絵本の会の方が「おはなしの会」に来てくださり、いろいろな物語やお話、ペーパーサートや組木などに親しむことができた。言葉の美しいリズムや響きにふれ、言葉に対する感覚を豊かにすることができた。また中央図書館からの100冊絵本、住吉図書館での貸し出しを利用し、園にないいろいろな絵本やお話を親しんだ。

取組内容④について

- ・未就園児を招いて、ふれあいデー（園庭開放）を5月から毎月行った。未就園児が来てくれることに期待をもってプレゼントをつくったり、受付をしたり、未就園児とのふれあいを喜ぶ姿が見られた。回数を重ねるごとに慣れてきて、関わり方が上手になり、自分から声をかけたり、一緒に遊んだりするようになった。また、毎回子どもたちが歌や手遊びを披露し、未就園児やその保護者に幼稚園の様子や雰囲気を見て感じてもらえた。
- ・地域にある住吉大社の行事に参加したり、散歩に行ったりして、住吉大社をより身近に感じることができた。地域のいろいろな人、文化、伝統にふれるよい機会になった。

- ・墨江小学校との交流を、機会を見て取り入れた。繰り返し小学校に行くことで、子どもたちは小学校を身近に感じ、小学生に会えることを喜ぶようになった。小学校への憧れや親しみの気持ちをもつことができ、小学校側に幼稚園児の姿を知ってもらうよい機会にもなった。
- ・小学校教育への円滑な接続を考えて、修了児が通う小学校の入学式や給食を見に行き、修了児の様子を見るとともに、小学校との関わりを深めることができた。また5歳児は、幼小交流会で小学生に優しく関わってもらったり、学習の様子を見せてもらったりして就学への期待を高めることができた。
- ・墨江丘中学校に行き、体育大会でかけっこをさせてもらった。中学生にとても優しく関わってもらったり、慣れないグラウンドでたくさんの観客がいる中、笑顔でかけっこを楽しむことができた。中学生の迫力ある走りを見たり、優しく声をかけてもらったりして、中学生とふれあうとてもよい機会になった。
- ・住吉区の子育て応援マップを活用して、住吉子ども・子育てプラザなど地域の子どもが集まりそうなところにポスター掲示やチラシ配置を依頼した。また、PTAの協力の下、地域の掲示板へふれあいデーのポスター掲示をした。
- ・ホームページ更新を意識して行い、積極的に幼稚園の取組を発信した。見てくださった方に、幼稚園の子どもの様子や雰囲気が伝わるように写真を選び、教職員の思いが伝わるよう文章を工夫した。

次年度への改善点

取組内容①について

- ・子どもの興味を広げられるよう、どんなことができるか教師が教材を把握したり、機器の使い方を学び、教職員間で伝達したりする。

取組内容②について

- ・自分の業務だけではなく全体のことを考え、計画的に進められるよう声を出し合ったり、協力したりする。

取組内容③について

- ・地域や小学校の図書館を計画的に活用し、絵本やお話を親しめるようにする。
- ・引き続き、子どもの興味関心に沿った絵本や物語に親しめるよう保育室や絵本室、読書コーナーの環境づくり、見直しを行う。
- ・保護者も絵本に親しめるような活動の在り方や、園の取組を伝える方法を工夫する。

取組内容④について

- ・地域の行事への参加や、近隣の学校園との交流を継続して行う。
- ・ホームページ更新を週1回以上行い、積極的に幼稚園の取組を発信する。